

高等学校 令和5年度（1学年用）

教科 芸術

科目 美術 I

教科： 芸術 科目： 美術 I 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 7 組

教科担当者： (1～7組：藤原) (組：) (組：) (組：) (組：) (組：) (組：)

使用教科書： (光村図書 美術 1)

使用教材： ()

科目の目標

- 【知識及び技能】 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深める。創造的な美術の表現をするために必要な技能を身につけ、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表すことができる。
- 【思考力、判断力、表現力等】 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫などについて考えるとともに、テーマを生成し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。
- 【学びに向かう力、人間性等】 美術や美術文化に興味を持ち、主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。

評価規準：

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
①造形に関する知識について理解を深めている。 ②創造的な美術の表現をするために必要な技能を身につけ、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表している。	自分の思いやモチーフから主題を生成し、形や色、構図、材料や用具の特性について考え、独創的な表現の構想を練っている。	作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、表現の創造活動と作者の意図や表現の工夫などについて考える鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。

評価方法と割合：

【知識・技能】 全体の3分の1	【思考・判断・表現】 全体の3分の1	【主体的に学習に取り組む態度】 全体の3分の1
①作品 100%	①作品 50% ②提出物の内容 50%	①学習に取り組む状況 50% ②ふりかえりの状況 50%

学期	月	具体的な指導目標	アキルスタンダード (指導項目・内容)	知	思	態	評価の方法	実績(実施日)							配 当 時 間	評 価
								1 組	2 組	3 組	4 組	5 組	6 組	7 組		
	4	ガイダンス クロッキー スケッチ	<ul style="list-style-type: none"> 授業の受け方について理解できる。 対象をよく観察し、自分なりに工夫して表現をする喜びを感じることができる。 鉛筆の特性を活かした絵画作品を完成させることができる。 	○	○	○	観察 作品 ワークシートの記述								28	
	5	鉛筆デッサン														
	6	色彩構成	<ul style="list-style-type: none"> 色彩についての基本的な知識を身につけ、作品制作に生かすことができる。 アクリル絵の具と筆の扱いについて理解を深めることができる。 	○	○	○	観察 作品 ワークシートの記述								30	
	7															
	9	鑑賞 模写	<ul style="list-style-type: none"> 名画の背景を知り、作者の気持ちや人生について理解を深めることができる。 絵画作品を根気強く完成させることができる。 	○	○	○	観察 作品 ワークシートの記述								20	
	10															
	11	デザイン (ポスター) 「学校生活とメッセージ」	<ul style="list-style-type: none"> 読みやすさを意識して、美しくレタリングをすることができる。 公共空間での展示を想定したときの望ましい美術表現を考えながら完成させることができる。 	○	○	○	観察 作品 ワークシートの記述								20	
	12															
	1	木工	<ul style="list-style-type: none"> 素材の特性を生かしたデザインについて考え、最後まで作品を完成させることができる。 安全に留意して電動のこぎりや、ヤスリを使用し、美しい仕上げができる。 	○	○	○	観察 作品 ワークシートの記述								20	
	2															
	2	絵画(構想画)	<ul style="list-style-type: none"> アクリル絵の具の技法を工夫しながら、自分のイメージを大切に作品を完成させることができる。 	○	○	○	観察 作品 ワークシートの記述								20	
	3															

高等学校 令和5年度（2学年用）

教科 芸術

科目 美術Ⅱ

教科： 芸術 科目： 美術Ⅱ

単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 7 組

教科担当者：（1～7組：吉田）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）

使用教科書：（光村図書 美術2）

使用教材：（ ）

科目の目標

【知識及び技能】造形的な視点について理解を深めるとともに、表現方法を追求し、個性を生かして創造的に表すことができるようにさせる。

【思考力、判断力、表現力等】独創的な表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、個性を生かした発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにさせる。

【学びに向かう力、人間性等】主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組み、完成と美意識を磨き心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

評価規準：

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
①造形的な視点について理解を深めている。 ②表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表している。	個性を生かして発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や価値観を深めたりしている。	主体的に美術の創造的な諸活動に取り組もうとしている。

評価方法と割合：

【知識・技能】 全体の3分の1	【思考・判断・表現】 全体の3分の1	【主体的に学習に取り組む態度】 全体の3分の1
①作品 100%	①作品 50% ②提出物の内容 50%	①学習に取り組む状況 50% ②ふりかえりの状況 50%

学期	月	具体的な指導目標	アキルスタンダード (指導項目・内容)	知	思	態	評価の方法	実績(実施日)							配当時間	評価	
								1組	2組	3組	4組	5組	6組	7組			
4	5	クロッキー	対象をよく観察し、特徴をとらえて表現することができる。 さまざまな絵画技法について知識を深める。点描ならではの表現方法を知り、作品制作に生かすことができる。	○	○	○	観察 作品 ワークシートの記述									28	
		点描画															
6	7	フォトリアリズム	拡大視写の技法を用いて支持体に写真の像を描き出すことができる。 色の混ぜ方を学習し適切な色で着色することができる。 粘り強く作業することができる。	○	○	○	観察 作品 ワークシートの記述									30	
		彫刻(粘土)															
1	1	木工カトラリー制作	糸のこぎり、各種やすりの使い方を理解し、安全に留意しながら作品を制作することができる。 使い心地を意識しながら、木製スプーンとフォークを完成させることができる。	○	○	○	観察 作品 ワークシートの記述									20	
		鑑賞															
1	3	絵画(水墨画)	墨の特性を理解し、濃淡を利用した絵画表現を試みることができる。	○	○	○	観察 作品 ワークシートの記述										
		鑑賞															

高等学校 令和5年度（1学年用）

教科 芸術

科目 書道 I

教科： 芸術 科目： 書道 I

単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 3 組～ 7 組

教科担当者：（3～7組：坂本）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）

使用教科書：（光村図書 書 1 ）

使用教材：（書道具、プリント ）

科目の目標

- 【知識及び技能】
- ①書写の表現と伝統文化を理解することができる。
 - ②正しい姿勢や執筆法で正確に執筆することができる。
 - ③授業開始10～20分にその日の課題説明をするため遅刻せずに授業に臨むことができる。
- 【思考力、判断力、表現力等】
- ①書体に合わせた表現方法の違いを理解し、書のよさや美しさを味わって捉えることができる。
 - ②仮名の伝統に即した用筆・運筆・字形・全体の構成について構想し工夫している。
 - ③今、何をすべきか判断し、取り組むことができる。
- 【学びに向かう力、人間性等】
- ①丁寧に真剣に文字と向き合い表現することができる。
 - ②自己表現の追求のために集中して課題に取り組むことができる。

評価規準：

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
①国語科の中の書写と芸術科の中の書道の違いを理解している。 ②硬筆（ボールペン）での書き方を理解し、表現している。 ③毛筆での書く姿勢・執筆法を正しく理解し、実践できている。 ④説明をしっかりと聞くことが出来、自ら考え、実践出来ている。	①用具・用材の特徴と表現効果との関わりについて理解している。 ②楷・行書のきっちりとした線質による表現の技能が身につけている。 ③中学校書写で学んだ漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成が表現できている。 ④文字を書くことだけでなく、授業に臨む姿勢を理解し取り組むことができている。	①毎時間に取り組む課題を時間内に仕上げられている。 ②丁寧に真剣に文字と向き合い表現することができる。 ③自己表現の追求のために課題に取り組むことができている。 ④欠席・遅刻・居眠り・授業不参加などせず前向きに取り組むことができる。

評価方法と割合：

【知識・技能】 全体の3分の1	【思考・判断・表現】 全体の3分の1	【主体的に学習に取り組む態度】 全体の3分の1
①作品80% ②映像教材視聴プリント内容20%	①作品40% ②提出物の内容30%（硬筆教材テキストも含む） ③今、何をすべきかの判断力30%	①学習に取り組む状況・ふりかえりの状況100%

学期	月	具体的な指導目標	アキルスタンダード (指導項目・内容)	知	思	態	評価の方法	実績(実施日)					配当時間	評価
								3組	4組	5組	6組	7組		
1	4	・心を落ち着け、授業に取り組むことができる。 ・説明の話を聞き、理解できる。 ・姿勢、用筆法が適している。	<用具、用材の扱い> <姿勢と執筆法>	○	○	○	観察 作品 ワークシートの記述						28	
	5 6 7	・手本をよく見て書く大切さを知り、実践できる。 ・楷書の基本用筆ができる。	漢字の書（5～7月） 楷書の学習	○	○	○								
2	9 10 11	・行書の用筆法が適正にできる。 ・古典の手本を見て臨書ができる。 ・筆圧の変化、墨の潤濁による線が変化できる。 ・創作して自分の内面を文字（黒と白の調和を考えながら）で表現できる。	行書の学習（9～12月） ・展示場所に作品展示する。 ・抑揚の変化・誇張・抑制などのリズムを学習する。	○	○	○	観察 作品 ワークシートの記述						30	
	1 2													
3	1 2 3	・小筆の用筆法が思うようにできる。 ・仮名（いろは歌）を何も見ないで仮名文字で書くことができる。	仮名の学習（1～3月）	○	○	○	観察 作品 ワークシートの記述						20	

高等学校 令和5年度（2学年用）

教科 芸術

科目 書道Ⅱ

教科： 芸術 科目： 書道Ⅱ

単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 3 組～ 7 組

教科担当者：（3～7組：坂本）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）

使用教科書：（光村図書 書2 ）

使用教材：（書道具、プリント ）

科目の目標

- 【知識及び技能】
- ①書写の表現と伝統文化を理解することができる。
 - ②正しい姿勢や執筆法で正確に執筆することができる。
 - ③授業開始10～20分にその日の課題説明をするため遅刻せずに授業に臨むことができる。

- 【思考力、判断力、表現力等】
- ①書体に合わせた表現方法の違いを理解し、書のよさや美しさを味わって捉えることができる。
 - ②仮名の伝統に即した用筆・運筆・字形・全体の構成について構想し工夫している。
 - ③今、何をすべきか判断し、取り組むことができる。

- 【学びに向かう力、人間性等】
- ①丁寧に真剣に文字と向き合い表現することができる。
 - ②自己表現の追求のために集中して課題に取り組むことができる。
 - ③休まず、遅刻せず、毎回の授業に取り組むことができる。

評価規準：

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
①国語科の中の書写と芸術科の中の書道の違いを理解している。 ②硬筆（ボールペン）での書き方を理解し、表現している。 ③毛筆での書く姿勢・執筆法を正しく理解し、実践できている。 ④説明をしっかりと聞くことが出来、自ら考え、実践出来ている。	①用具・用材の特徴と表現効果との関わりについて理解している。 ②楷・行書のきっちりとした線質による表現の技能が身につけている。 ③中学校書写で学んだ漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成が表現できている。 ④文字を書くことだけでなく、授業に臨む姿勢を理解し取り組むことができている。	①毎時間に取り組む課題を時間内に仕上げられている。 ②丁寧に真剣に文字と向き合い表現することができる。 ③自己表現の追求のために課題に取り組むことができている。 ④欠席・遅刻・居眠り・授業不参加などせず前向きに取り組むことができる。

評価方法と割合：

【知識・技能】 全体の3分の1	【思考・判断・表現】 全体の3分の1	【主体的に学習に取り組む態度】 全体の3分の1
①作品80～90% ②映像教材視聴プリント他10～20%	①作品40% ②提出物の内容30%（硬筆課題も含む） ③今、何をすべきかの判断力30%	①学習に取り組む状況・ふりかえりの状況100%

学期	月	具体的な指導目標	アキルスタンダード (指導項目・内容)	知	思	態	評価の方法	実績（実施日）					配当時間	評価
								3組	4組	5組	6組	7組		
1	4	休まず、遅刻せず出席し、心を落ち着け、他人に迷惑をかけず、書道に取り組むことができる。	楷書、行書、隷書の学習	○	○	○	観察 作品 ワークシートの記述 (硬筆テキスト) 映像教材視聴プリント内容						28	
	5	古い時代の書体（隷書・篆書）の特色ある用筆法がしっかりできる）篆書で石を刻するにあたり、刀の使い方、石へのあて方が思うようにできる。 それぞれの課題に真剣に取り組むことができる。	江戸書道展 全国公募千文字大会 出品作品への取り組み	○	○	○								
	6			○	○	○								
2	9	文字を美的に書くことができる。 彩色ボードを使い、文字を刻することが思うようにできる。 細字（写経、日常の書）をすることにより、集中力を養うことができる。	刻字の学習 作品展示 小筆の学習 写経、仮名、実用書	○	○	○	観察 作品 ワークシートの記述 (硬筆テキスト) 映像教材視聴プリント内容						30	
	10			○	○	○								
	11			○	○	○								
3	1	草書の文字のくずし方と写形を理解し、書くことができる。 書道Ⅰ、書道Ⅱで学んだ知識と用筆法を使い、自分らしい表現ができる。	草書の学習 創作作品制作	○	○	○	観察 作品 ワークシートの記述 (硬筆テキスト) 映像教材視聴プリント内容						20	
	2			○	○	○								
	3			○	○	○								

教科・科目・講座等	芸術・保育ピアノ演習	2単位	3学年 自由選択
教科書・副教材等	バイエルピアノ教則	教科担当	小岩

学習の到達目標	〈保育士関係進学希望者対象講座〉 音楽の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、主体的な表現力を伸ばす。保育士に必要とされる諸要素のうち、特にピアノ実技中心の指導を行う。さらに、基礎的な音楽理論（ソルフェージュを含む）の習得と実践的な演奏技術の育成を目指す。
---------	--

学期	月	主な学習内容	進捗状況						アキルスタンダード	評価	学習のねらい	評価の観点	配当時間
			1組	2組	3組	4組	5組	6組					
一学期	4	楽譜の読み方							・ト音記号とヘ音記号の読み方を理解する。 ・調号や臨時記号の仕組みを理解する。 ・音符と休符の違いを理解する。		・楽譜の読み方を理解し、スムーズに読む力を身につける。	・楽典を正しく理解できているか ・実技	6
	5	ピアノ 鍵盤の確認 運指の確認							・楽譜と鍵盤の位置を対応させ、演奏することができる。 ・楽譜に記載された運指で演奏することができる。 ・指をよく動かし、一つ一つの音を丁寧に演奏することができる。		・正しい姿勢、指の形、運指を覚える。		8
	6	個人レッスン							・それぞれのレベルに応じた曲を演奏することができる。		・両手で小曲を演奏する。		8
	7	新曲視唱 コールユーブンゲン							・しっかりと声を出して歌うことができる。 ・正しい音程・リズムで歌うことができる。		・正しい発声・音程感覚・リズム感を身につける。		6
二学期	9	個人レッスン ペダリング							・発表に向けて各自の曲を最後まで演奏できるようにする。 ・ペダルの使い方を理解し、演奏効果を高める使い方を覚える。		・バイエル下巻程度の曲を弾く。 ・ペダリングを習得する。	・発表 ・聴音テスト ・正しい楽譜を書けているか ・実技	8
	10	聴音							・ピアノの音を聞き、楽譜に正しく記すことができる。		・単旋律、二声の聴音をとおして正しい調音の力を身につける。		8
	11	聴音							・ピアノの音を聞き、楽譜に正しく記すことができる。		・楽譜の書き方を確認する。		8
	12	個人レッスン							・小曲の演奏ができる。		・ブルグミュラー程度の曲を弾き、演奏の技術を高める。		6
三学期	1	コードネームによる伴奏付けの基礎							・コードネームを見て、最低限の伴奏付けができる。		・コードネームを理解する。	・発表 ・実技 ・弾きながら歌うことができるか	6
	2	コードネームによる伴奏付け							・コードネームを見て、伴奏付けができる。		・簡単な旋律に伴奏をつける。		8
	3	コードネームによる伴奏付け・弾き歌い							・伴奏を弾きながら歌唱することができる。		・童謡など、弾き歌いを習得する。		6

* 学習評価については、【出席状況】：【授業態度】：【実技試験】を2：4：4の割合で評価する。

* 評価：A（十分に達成できた）、B（おおむね達成できた）、C（不十分であるが達成できた）、D（達成できなかった）